

殿様が見た 古木達と 話そう!



北側から見る天守と石垣

史跡高知城あとは、
明治6年高知公園と
して生まれ変わり、県
民だれでも利用できる
ようになりました。公
園の面積は10haあり、
159種類（針葉樹※1）
19種類（広葉樹※2）

140種類もの樹木が育つ森として、貴重な史跡の魅力や、豊かなみどりを市街地のまん中で、いつでも、だれでも楽しむことができます。お城の森には、高知市の地名をテレビで全国へ発信するサクラの開花標本木をはじめ、樹齢（※3）が600年・周囲は4m以上の古木（1727年の大火をのがれた）や、自然のイタズラが楽しい変わった形の木のほか、明治以降に植えた外国の種類も加わり春の新緑やサクラの開花、真夏の木陰、秋の紅葉、そして種類も豊富な果実など、1年中私たちを楽しませてくれる緑豊かな公園です。さらに四季を通じて飛び交う野鳥や昆虫のほか小動物まで住みつき、市民はもちろん県外からの観光客にとっても市街地を忘れさせる森・いつまでも残しておきたい癒しの杜です。自然の力で偶然作られたとても珍しい木、姿や性質がおもしろい木など、高知公園を代表する10種をここに紹介します。

発行：高知緑と水の会

二股の幹が合体しました

イスノキ

幹が二本で成長していたが、ある時反対がわの幹から出た枝に触れたため完全にくっついた(合体)。合体部分は養分や水がうまく流れるため成長を続けている。

広葉樹、常緑高木、マンサク科、イスノキ属

- 虫食い/葉にアブラムシが住みつき、大きくなった虫こぶ。虫こぶは4~5cmの卵形に成長。虫の穴を利用して笛にする。
- 材の利用/木炭、庭木。成長は遅いが大木になる。
- 場所/二ノ丸南西角、奥御殿南の築山

合体したイスノキ

スギから竹の枝が...

スギとカンチク

木に竹を継ぐ...ことわざの見本? それとも標本?

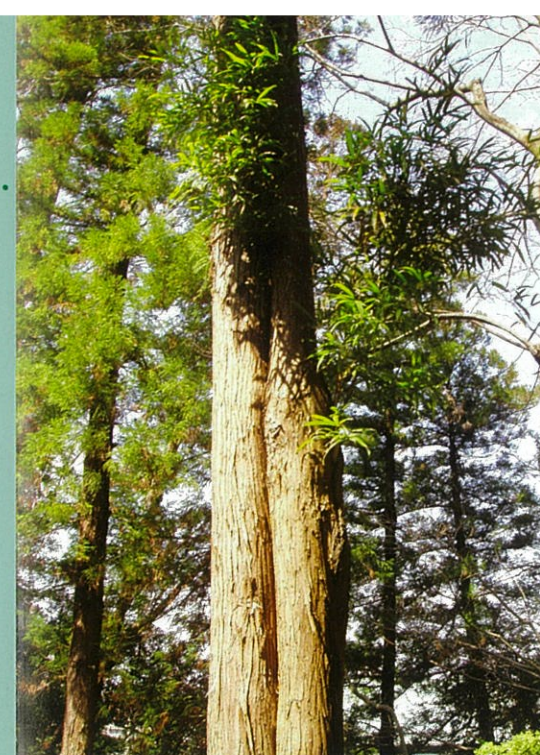
カンチクの地下茎がスギノキの根元へ潜り、空洞内部を登り、幹の腐れ部分からタケノコを出し成長した。竹の根っこは、湿気の多い暗い空洞(※4)は大好き。

スギ/針葉樹、常緑高木、スギ科、スギ属

- 材の利用/幹は真っすぐで建築材として優れる。
- カンチク/寒竹とも書く(多年生常緑の笹)
- 竹の利用/タケノコは秋の終り頃とれる。庭木。
- 場所/天守閣西側、梅の段下の神社跡



寒竹



竹の枝が出たスギの幹

触れるとかぶれる「ハゼ」と鳥もちを作る「モチノキ」の仲は?

ハゼノキとモチノキ

同じ広葉樹でも、分類上の「科、属」が異なる木は、何十年くっ付いていても合体できない見本です。

- ハゼノキ/広葉樹、落葉高木(※11)、雌雄異株(※6)、ウルシ科、ウルシ属
- 別名/ハゼウルシ・ロウノキ
- 木の実を利用/果実から木ろうが採れる。

- モチノキ/広葉樹、常緑高木(※8)、雌雄異株
- 樹皮を剥ぎ鳥もちにした。赤い果実は小鳥の好物
- 材の利用/庭木、樹皮は染料にした。
- 場所/高知城西側、梅の段下の神社跡



ハゼノキとモチノキ

文字が浮き出る葉

タラヨウ

ジカキシバ、フミのキ、モンツキシバ、アブリダシ、オガモチ、多羅葉等、別名が多い。火であぶると輪状の紋様が浮きあがる。爪で字が書けるため昔はハガキ代わりに使った。

広葉樹、常緑高木、雌雄異株

- モチノキ科、モチノキ属
- 4~5月に黄色の花、枝先へ群状に付く実は赤色。
- 材の利用/薪や木炭、寺院や公園樹
- 場所/弓道場北寄斜面、北東の車両用施錠門横



タラヨウの実



探検のポイント

- 偉大な自然の力を見よう。
⑩ イヌマキ
① イスノキ
② スギとカンチク
③ ハゼノキとモチノキ
- 隠された木の力を知ろう。
④ タラヨウ
⑤ カシワ
⑥ ヌマスギ
- 人の手が加えられた。
⑦ タギョウショウ
- 古木(長寿)と呼ばれている。
⑧ カヤ
- 木の皮模様から名が付いた。
⑨ カゴノキ

葉は山内家家紋のモデル

カシワ

葉は大きく20~30cmにも成長するが、葉柄(※12)は極端に短く見分けやすい。落葉樹ですが、秋の紅葉後も枯れ葉は枝にしがみつき、風雪に耐えながら春を迎え、新芽が出てから枯れ葉を落とすため、絶える葉、お世継ぎ後の落葉は縁起もの。昔から葉はかしわ餅や食器代わりに使用され「炊葉(かしぎは)」の名前からカシワになる。

広葉樹、落葉高木、ブナ科、コナラ属

- 材の利用/ウイスキー樽、皮はなめし用タンニン
- 場所/一豊銅像西脇、千代様銅像後に植栽



風雪に耐えるカシワの枯れ葉

枝の先端も落ち葉の一部に

ヌマスギ

メキシコ原産で明治の初め日本へ来た。原産地の沼地では、雨期になると地面が水没するので、根は呼吸するための呼吸根(気根)を地上へ伸ばす。高さは2m、直径30cmにも成長。また、落葉の時は枝の先端が葉を付けたまま落ちる。鳥の羽根が舞うように見えたため落羽松と呼んだ。落羽松はマツではなくスギの仲間。

針葉樹、落葉大高木、雌雄異株、スギ科、ヌマスギ属

- 材の利用/公園樹、建築材、土木用、器具材
- 場所/三ノ丸、辻山西入口、丸ノ内緑地

呼吸のための気根

この木の幹は...

タギョウショウ(多行松)

樹木のほとんどは、幹が真っすぐ立ち上り、四方へ枝を伸ばすが、この木の幹はどれなの? クロマツを台木にアカマツを接ぎ木し、改良した。

- 針葉樹、常緑低木、マツ科、マツ属
- 材の利用/庭園や公園樹等観賞用
- 場所/板垣銅像横、二ノ丸への石段脇、東多聞脇

タギョウショウの幹



樹齢は600年! 城内一番の長寿木

カヤ

碁盤や将棋盤として高価なため切り尽くされ、古木はなくなった。水に強く腐りにくい。樹齢(※3)600年を数え、城内一番の長寿木。

- 針葉樹、常緑高木、雌雄異株、イチイ科、カヤ属
- 材の利用/碁盤、将棋盤、建築材など

- 場所/杉の段古井戸から西へ20メートル

カヤの実



鹿の子模様から名前を知る

カゴノキ(鹿子の木)

樹皮の表面がはげ落ちると、鹿の子模様に似ているためついた名前。

広葉樹、常緑高木、クスノキ科、カゴノキ属

- 材の利用/床柱、狂い易く建築材(※5)に不適
- 場所/梅の段西北

カゴノキの木はだ



10は、このページの裏にあるよ!! →

不思議な節木(枝)

高知城のイヌマキは珍奇木なら日本一?

イヌマキ

この木は、自然界の偶然がいくつも重なり400年もかけて作られたもので、針葉樹(※1)であるイヌマキの幹から、広葉樹(※2)であるクスノキの幹が枝のように突き出ており、今も成長を続ける生きた標本です。

珍木の主(イヌマキ)とはこんな木

別名/クサマキ、マキ
樹齢(※3)/約400年
地面からの高さ/約18m
幹の周り/約3m(直径96cm)
樹木全体の重さ/6~7トン(推定)

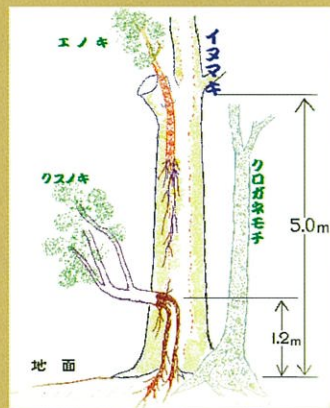
●材の利用/水桶、土木・建築材(※5)、庭木(針葉樹、常緑高木、雌雄異株(※6))マキ科、マキ属

この木は雌木で6月頃花が咲く。種子は緑色。枝先と実のあいだについている花托(※7)は秋になると赤く熟し甘くておいしい。

齢をとり幹の内部は根元から頂上部分まで空洞(※4)になっているため、腐れ部分を除くイヌマキの重さは約半分くらいと思われる。ただし、生きるため必要とする水や養分の通路は、幹の周辺部にあるため幹の内部に出来た腐れの影響は小さく、400年も生きてきたとは思えないくらい元気です。



年輪の謎・空洞の秘密、偶然できた奇跡の枝は、よそではまだ見つからない。



イヌマキ内部を想像した絵図

イヌマキの仲間達を紹介

仲間1/クロガネモチ

根株部分でイヌマキと格闘中、もちろん水や養分もうばいあい。
(広葉樹、常緑高木(※8)、雌雄異株(※6))・モチノキ科、モチノキ属

●材の利用/庭木や公園樹

材は柔らかで白色、腐り易いため南九州の方言ではイモクソと呼ぶ。建築材(※5)には適しない。

仲間2/クスノキ

イヌマキの枝に化けた正体は、クスノキの幹でした。(珍奇木では日本一か)

(広葉樹、常緑高木、両性花(※9))・クスノキ科、クスノキ属

●材の利用/精製して樟脳を作る、家具、建築材、船舶、寺院・街路樹(※10)・公園樹。

仲間3/エノキ

いつの間に住みついたの? くせ者は腐れ枝から忍び込んだエノキの種ではないか?

(広葉樹、落葉高木(※11))・ニレ科、エノキ属材は腐りやすい。熟した茶色の実を食べられる。

●材の利用/寺院や公園樹、街路樹(※10)、腐りやすいので建築材には適しない。

●その他の仲間/幹の頂部はスズメバチの巣が、枝には白い花のフウランが付いている。

●場所/梅の段から三ノ丸への通路中間の南東角、鐘撞堂下段

解らなかったらココで!

用語の解説

※1 針葉樹
針のように細長い葉を付ける木を表す名前

※2 広葉樹
葉が広く平らな葉を持つ木を表す名前

※3 樹齢
種から芽を出して大きくなった現在の年数

※4 空洞
木の中にできたぼろあな(うろ)の部分

※5 建築材
家を建てるための板や柱

※6 雌雄異株
同じ種類の木でも、めばな(雌花)と、おばな(雄花)は別々の木につく

※7 花托
種子を支えるかにく(果肉)の部分で赤く熟す



※8 常緑高木
一年中緑色の葉を持つ背の高い木

※9 両性花
一つの花にめしべと、おしべがある

※10 街路樹
道路沿いに植えた木

※11 落葉高木
冬寒くなる前に一斉に葉を落とす背の高い木

※12 葉柄
葉を支えるえ(柄)の部分、又は葉と枝をつなぐ部分

このパンフレットは、
(社)高知県森と緑の会
「緑の募金公募事業」の助成を受け、
みどりの野外学習教材として
作成しました。

発行/高知緑と水の会 2008.5.4
代表/野島 幸一郎(樹木医)

●問い合わせ先
高知緑と水の会事務局
高知市宇津野20-100
Tel・Fax 088-875-0406

●資料及び制作協力
四国森林管理局/高知市教育委員会
高知城管理事務所/日本樹木医会高知県支部